

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 1 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	外出の機会や地域交流を増やす。	・外出行事を増やす(地域の情報等をリサーチを行い再始動する) ・地域行事の参加を行い地域の一員として活動に参加できるようにする。	6ヶ月
2		運営に関する利用者・家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを反映させる。	運営推進会議だけでなく、面会時等意見交換する機会を設け職員と情報の共有を行う。	施設での感染対策の状況をみながら、入居者と家族との交流(音楽活動等)開催。 ・家族様の意見や要望等を把握する。	6ヶ月
3		食事を楽しむことが出来る支援 食事が楽しみなものや交流スペースになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を感じられる保存食作りやおやつレクレーションの回数を増やし、楽しみに繋げる。	利用者様の聞き取りを行い要望を取り入れながら、年間行事予定表に組み込む。	6ヶ月
4	49	日常的な外出支援 一人ひとりのその日によって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出意欲に繋がるように工夫しながら、働きかけを行い行事予定表に取り入れる。	日頃のレクレーションに外出意欲に繋がるように努める。季候がよい時期に外出レクを行う。また家族様に参加をして頂ける外出レクも行う。	6ヶ月
5	35	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に瞬時に対応出来るように日頃から供える。	災害時に備蓄や敷地内の環境整備を定期的に確認を行う。又地域との協力体制が取れるように取り組む。	6ヶ月
6	54	居心地良く過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室の名前にちなんで写真等に雰囲気を変え利用者様や家族様に喜んでいただけるようにする。	各居室の名前二合わせた飾りを写真などを代わりに掲示をする工夫をする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。